



「こども」は次の時代を豊かに築いていく国の宝です。
 子どもは家族や社会から喜びを持って新しい命の誕生を祝福されて迎え入れられてきました
 日本には「児童憲章」という子を思う世界に勝るすばらしいものがあり、その中には「こどもは地域や家族の愛を受けて育っていく権利があり、大人はその子どもを育てる義務がある」と明記されています。
 「こどものもり」でも次代を担う子どもたちがしっかりとした愛情につつまれて育っていくようにと願っています。



「こどもの日の集まり」のご報告!

本日ランチルームで、すみれさんを中心に初めての「柏餅作り」を体験しながら、「こいのぼり」の泳ぐ園庭にて「こどもの日の集まりの会」をしました。

「こいのぼり」の歌をうたい、園長先生から「いつも元気で病気をしないで、お手伝い大好きな子は?」と聞くと、どの子どもみんな「は〜い!」と言って元気良く手を上げてくれました。
 「みんなで作った『柏餅』を食べるともっと元気で良い子になりますよ!」と園長先生。

どの子ども心からの願いを込めて、手作りの「柏餅」をいただきました。

「おいしいね!」「柔らかで甘いね!」どの子どもニコニコ笑顔で良い子になっていきます。ご家庭でも温かく優しい笑顔で、「良い子に育ててありがとう!」とほめて励まして応援をしていってください。(別紙児童憲章をお読みください。)



自分たちで作った「かしわ餅」を食べながら元気な子どもに育ちますように!

本日ランチルームで子どもたちによる「柏餅づくり」をしました。

5月5日の「こどもの日」のお祝いには家族みんなで昨柏餅を食べお祝いをして、ステキな子どもに育っていかれるように応援をしていきましょう!

用意するもの

- ① 団子の粉
 - ② 柏の葉
 - ③ あんこ
- スーパーや和菓子屋さん
にこれらは売っています。

袋の裏側に「お団子」の作り方が書いてありますので参考にしながら作ってみましょう。

- ④ だんごを茹でるお鍋
- ⑤ 出来上がったお餅を乗せるステキなお皿

柏餅作り「こどものもり」の作業風景です!

すみれさんが中心に進みましたが小さな子たちも「あんこを丸める」「柏の葉で包む」ことで参加しました。

- ① 粉に水を入れておだんごのやわらかな生地を作る係
- ② 小さくちぎった生地を丸め、丸めたお団子を薄く伸ばす係
- ③ 薄く伸ばしたおだんごを煮立ったおなべにヤケドをしないようにそっと入れる係
- ④ 茹で上がった薄いお餅に丸めたあんこを入れて包む係
- ⑤ 全員が出来上がったあんこの入った白いお餅を柏の葉でくるみました。

「ゆっくりこねないと柔らかくならないよ!」「熱いけど丸めるのは楽しいね!」「柏の葉っぱは元気が出る葉なんだって!」「おいしく出来るように!」とニコニコしながらどの子どもみんな一生懸命作ってくれました。みんなの心のこもった「柏餅」を食べながら、どの子どもみんな元気で良い子に育っていきます!



すみれ組さんが中心になって200個の柏餅を一生懸命作りました。

青空の下、こいのぼりの泳ぐ園庭で食べた、すみれ組さんが中心でつくった「柏餅」はとってもおいしかったです!!

